

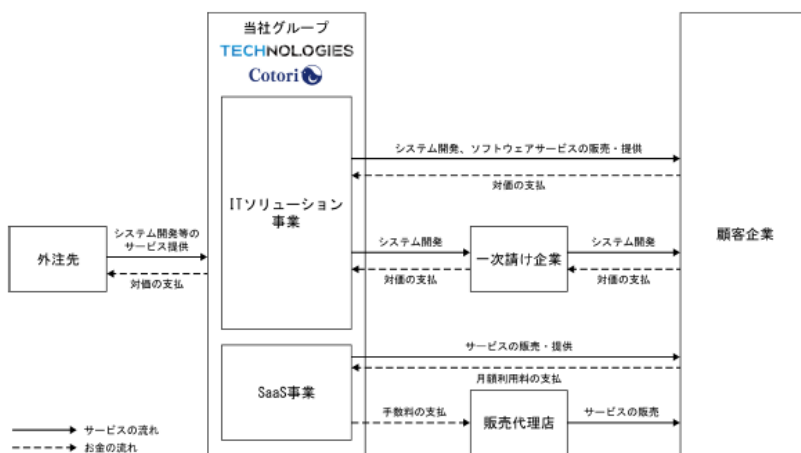
テクノロジーズ
5248・100株
1月26日東証グロース上場

映像ソフトウェア制作、AI（人工知能） デジタル技術に関連したシステム開発などを展開

「ITソリューション事業」および「SaaS事業」を展開

ITソリューション事業においては、主にAI領域や、エンターテインメントソフトウェア領域を中心に、顧客の様々な要望や課題に対しシステム提案から設計、開発、環境構築までを手掛けている。

SaaS事業においては自社プロダクトとして、SaaS（インターネット経由でソフトウェアを利用する形態のサービス）の開発・提供を行っている。中小の人材派遣会社向けに開発したクラウド型の業務管理システム「jobs」などを提供している。



23年1月期第3四半期累計のセグメント業績は、ITソリューション事業売上高735百万円・セグメント利益181百万円、SaaS事業売上高44百万円、セグメント損失66百万円。

セグメントの名称	第8期連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)		第9期第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)
	販売高(千円)	前年同期比(%)	販売高(千円)
ITソリューション事業	767,960	99.2	735,767
SaaS事業	21,321	186.6	44,351
合計	789,282	100.5	780,119

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

テクノロジーズ

5248・100株

1月26日東証グロース上場

「ITソリューション事業」は、遊技機向けに強み

主に、(1)エンターテイメントに関連する映像ソフトウェア開発、(2)AI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発の領域において受託開発、及び(3)金融自動売買システムの販売を行っている。

(1)エンターテイメントに関連する映像ソフトウェア開発

上流(企画)～中流(映像ソフトウェア開発)～下流(組込)まで、一貫したワンストップ体制で、エンターテイメントに関連する映像ソフトウェア開発(遊技機向け)を中心に、3Dデジタルサイネージ、プロジェクトマッピング、アパレルAR(仮想)試着アプリ、3Dアニメ映像制作といったソフトウェアの開発を行っている。

エンターテイメントに関する映像ソフトウェア開発では、遊技機メーカー等からの1次請けを中心に受託開発を行っている。遊技機における映像開発の特色としては、同じ映像を繰り返し見せるという特徴がある。このため高品質であることはもちろん、新しい映像表現で見る側を楽しませることを意識して制作に取り組んでいる。

23年1月期第3四半期累計売上高780百万円のうち、18%に相当する140百万円が遊技機メーカーのニューギン向け売上高となっている。

遊技機開発



テクノロジーズ

5248・100株

1月26日東証グロース上場

(2)AI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発
AI等のデジタル技術を利用した、顧客企業のサービスや業務システム等の開発を行っている。同社グループは、AI(人工知能)分野における認識・解析・提案の技術に強みを持っている。これまでの開発実績としては以下のものなどがあげられる。

☆大手自動車メーカー自動運転アプリ開発

大手自動車メーカーから依頼を受け、スマートフォンを利用した自動運転アプリのプロトタイプを開発。

☆子供向けAI学習ロボ

AIによる自動音声認識技術が組み込まれた、子供向け教材学習ロボの開発を請負った。子供がゲーム感覚で学べるという事で当製品は3年連続で数十万台規模の販売実績となり、顧客企業から好評を得た。

☆自動車遠隔制御システム

レンタカー事業者から依頼を受け、盗難防止用に遠隔にて自動車を制御可能にするシステムを開発。



(3)金融自動売買システムの販売

同社開発の金融自動売買システム「SAZANAMI SYSTEM」を販売している。為替取引において、過去のデータを基にバックテストを実施し、ある一定のアルゴリズムを事前設定する事で、自動で為替取引がされるシステム。

テクノロジーズ

5248・100株

1月26日東証グロース上場

「SaaS事業」では人材派遣向け業務管理システムなどを展開

人材派遣会社向け業務管理システム「jobs」は同社グループが主として取り組んでいる製品。中小の人材派遣会社向けに開発したクラウド型の業務管理システムで、人材派遣業務に関する業務全般を、同製品内で一元的に管理することができる。中小企業にとって利用しやすいものとするため、価格は初期費用無し・月額3万円としている。「jobs」を導入することで人材派遣会社は派遣社員を管理する上で必要な、スタッフ情報管理、仕事情報管理、顧客情報管理、マッチング、勤怠報告、経費精算、給与計算、請求書の書類作成等の様々な機能を利用することで、業務の効率化が期待できる。販売は直接販売の他、代理店経由でも行っており、また2021年5月からは人材業界大手ディップとも販売業務提携を開始し、販路の拡大を図っている。

中長期の業績見通し

2023年1月期の業績は、売上高が前期比33.2%増の10.5億円、経常利益が同145.7%増の1.5億円と増収増益の見通しとなっている。グループ売上高の90%以上がITソリューション事業であり、遊技機向けの顧客企業のリピート率は99.7%を実現し、グループの安定的な収益獲得源となっている。一方、遊技機以外についてはリピート率が26.5%となっており、この値の向上が中長期的に安定的な業績拡大が実現されるか否かの鍵になると思われる。

連結業績推移 (百万円・%)

決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2021/1	785	-	23	-	29	-
2022/1	789	0.5%	61	164.3%	81	176.7%
2023/1 予	1,051	33.2%	151	145.7%	69	-15.1%
2022/10 3Q	780	-	115	-	44	-
予想EPS/配当	単独：-円 連結：25.41円/-円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

テクノロジーズ

5248・100株

1月26日東証グロース上場

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話: 03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp